



社会福祉法人尚徳福祉会 日野保育園 2024年 2月

節分を過ぎ暦の上では春となりましたが、ようやく2月らしい寒さを感じられるようになりました。子どもたちは冷たい風にも負けず、戸外でも上着を脱いで元気いっぱい走り回り、頬を赤くしながら笑い声を響かせています。全国的に感染症が急増しているようですが、『あさがお組の元気の為のお約束 ☆うがい・手洗い・よく食べて・よく眠る』で、元気に過ごしていきたいと思います!!



☆鬼は～外!!福は～内!!☆

節分制作で鬼のお面と豆入れを作りました。「鬼ってどんな顔?」と皆で考えると「怖い顔!!」「怒ってるよね」「角とキバもある!!」とむくむくとイメージが湧いてきた子どもたち。絵の具で色を塗ったり、色画用紙を切ったりして鬼を作っていました。思い描く鬼に近づけようと、試行錯誤を重ねるその表情は真剣そのもの☆完成した鬼は怖い顔やカラフルな顔…といろいろでしたが、皆どことなく『作った本人にそっくり』な仕上がりでした♪

そして豆入れは、作り方も材料もそれぞれ自由に考えて作っていました。廃材を使った制作が好きな子は、ここぞとばかりに本領発揮!!いろいろな空き箱を組み合わせてカバン(?)を作ったり、可愛らしく飾ることが好きな子は、封筒や色画用紙で作ったシンプルな袋にいろいろな素材・色のものを使って飾りつけていました。イメージした通りにつくりあげていくのはなかなか難しいものですが、一生懸命に作った分、満足感や愛着が湧いたようです。

おまけ

自分で作ったお面や豆入れを気に入った子どもたち。給食後や夕方などお部屋で遊ぶ時もかぶっていました。お面をかぶってUNOやトランプをする姿…まるで、ちびっこ鬼がパーティーをしているようでした♪



☆キレイに手洗いでできているかな☆

感染症が増えるこの時期ですが、水の冷たさもあり手洗いが雑になりがちです。「ちゃんと洗ったよ～♪」とは言うものの、手のひらをささっと洗うだけだったり、泡をのせてすぐに流したり…
そこで、加藤看護師の『手洗い指導』を受けました。紙芝居を見て手洗いのポイントを教えてもらってから、実際に手洗いスタート!!手に押ししたバイキンマークのスタンプが消えるように、手のひら→手の甲→指の間→指→手首と洗っていきました。「いつもより時間がかかるね」「指を1本ずつ洗うのはちょっと大変だ～」と言いながらも、手洗いポスターを確認しながら丁寧に洗っていく子どもたち。キレイになった手をじっと見つめたり、お友達と見せ合ったりする姿が印象的でした☆丁寧な手洗いが習慣づいていくといいですね。



☆憧れのひまわり組に向かって☆

年が明けてから「もうすぐひまわり組になるんだよね!!」と嬉しそうに話す子どもたち。その気持ちが年下の子への関わり方に表れています。泣いている子がいると視線を合わせて「どうしたの?」と声を掛けてあげる子、たんぼ組がお部屋に戻ることに気付いて入室や片付けの手伝いをする子など率先して行動しているのです。そんな子どもたちの合言葉(?)が『だってもうすぐひまわりさんになるんだもん♪』 期待や意欲、優しさを大切に、進級に向けて過ごしていきたいと思います。